

フィンランド語文法

第2回



今日の授業

今日はフィンランド語の発音を学びます。教科書に添付の CD を聴いて、その後、実際に発音してもらいます。また、実際の発音のサンプルとして、フィンランドの作家クルーン(Leena Krohn)の作品を朗読した CD を聴きます。フィンランド語の発音に少し慣れて来たら、Michael Reck 氏によるフィンランド語の早口言葉を練習してみましょう。

今日のポイント

フィンランド語は発音と綴りが対応しています。また、あまり難しい発音はありません。ただ、そうはいつでもある程度の練習は必要です。自宅で練習に取り組んでください。

今日の一枚

上の写真は、フィンランドの首都ヘルシンキの街角に立っている案内板です。どうも、同じ行き先が二つの言葉で書かれているようですね。例えば、Rautatietori はフィンランド語ですが、Järnvägstorget はスウェーデン語です。実は、歴史的に複雑な事情で、フィンランドでは、スウェーデン語もフィンランド語と並んで国語になっているのです。そのため、街角の表示などは二ヶ国語併記が原則になっています。ちなみに、スウェーデン語を母語にしている人の割合は、全人口約 530 万人のうちの 5.5%です。